

平成30年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	70	学校名(課程)	蘇南 高等学校(全日制)
------	----	---------	--------------

1 全体目標

○ 一人一人の社会的・職業的自立に向け、コミュニケーション能力や探究力、課題解決の能力と態度を育てる

2 現状・課題

地域人材の活用や対話を通じて、より実践的な知識と技術を身に付け、将来、地域を担う人材を育成したい。また、地域連携や他教科との連携を積極的に実践し、カリキュラムマネジメントの観点に立ち、授業を研究していきたいと考えている。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を含める。学校で言い換えた力でもよい

- a 自ら課題を見つけ探求し、それを解決する力
- b 情報の収集・整理の方法を獲得し、それを表現する力
- c 協調性とコミュニケーション能力
- d 進路情勢の研究・受験先の決定・進路実現を図るための実践力

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
① 自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する	ア 基本的な生活習慣(身だしなみ、挨拶、清掃、マナー等)の確立を図る。〈②〉 イ 「産業社会と人間」をとおして地域や社会を知るとともに、職業観やコミュニケーション能力・探究力を育成し、職業の社会的意義を理解する。〈②, ③〉
② 仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 自ら課題を設定し、計画・準備・調査・発表(実習)・記録・反省(評価)のサイクルで活動することを通して、自ら学んでいくノウハウを身につける。〈②〉
③ 様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促し、将来の職業を考える	エ 研究の成果を発表することで協調性とコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を育成する。〈②〉
④ 卒業後の進路を選択し、実現をめざす	オ 各自の描いた未来設計・進路目標を実現するための具体的道筋を明らかにし、進路の実現を図る。〈①, ④〉

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・思考力、表現力を育成するための授業改善(全学年) ・各種検定合格、資格取得のためのガイダンスや補習
総合的な学習の時間	・各自が決めたテーマに沿って研究し、発表会でプレゼンテーションを行い、論文にまとめる。
特別活動	・進路別ガイダンスの実施 ・進学・就職した卒業生を招いて、在校生との懇談会を行う
校外の体験活動(就業体験活動等)	・キャリア・チャレンジ・プログラム(希望者、1~3年) ・オープンキャンパス ・インターンシップ(2年)
地域や産業界等との連携	・信州学(1年) ・企業見学 ・販売実習(2年) ・パソコン先生(2年)
評価	・レポート、課題等の提出状況 ・校内アンケートの実施 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携(指導の継続性)	・総合研究発表会に中学校の教員を招待 ・学校説明会の実施(キャリア教育について説明)
校内の推進体制	・総合学科推進係5名(総合学科主任、各学年担当4名) ・進路指導係7名(進路指導主事、進学担当、就職担当)

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目標	○自己理解 ○職業理解, 社会認識 ○進路を見据えた科目選択	○コミュニケーション能力を身につける ○就業体験をとおして職業意識を高める ○進路実現のための科目選択	○課題解決能力の育成 ○プレゼンテーション力の育成 ○進路実現
主な取組	○「産業社会と人間」学習発表会 ○大学企業見学	○インターンシップ ○平和学習 ○大学企業見学	○総合研究 ○進路実現に向けた個別指導
評価	・生徒意識調査(県教委) ・「産社と人間」アンケート、授業評価	・生徒意識調査(県教委) ・「産社と人間」アンケート、授業評価	・生徒意識調査(県教委) ・総合学科アンケート、授業評価

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な学習の時間(3年) 産業社会と人間(1・2年)	特別活動 等	その他 (面接・評価等)
1 年	4 シラバス説明 7	自分史(過去編)作成を通じて、自己理解を深め、自分と向き合う 系列模擬授業をつづいて将来について考える	オリエンテーション 基礎力診断テスト 進路の日 蘇峽祭(文化祭)	生活実態調査 個人面談 三者懇談会
	夏 進学補習 各種講習会 休	課外活動や各種補習授業を通して、自分の将来について考えるとともに自己理解を深める機会とする	キャリア・チャレンジ・プログラム オープンキャンパス参加 看護師体験	
	9 系列別授業 (文理・ビジネス・ものづくり) 12	講演会を通じて、様々な考えに触れる ソーシャルチェンジプログラムを通じて地域課題について考え、提案する (信州学) 2年次科目選択	進路別ガイダンス 人権講演会 合唱コンクール	個人面談 授業評価 生徒意識調査(県教委)
	1 「産業社会と人間」学習発表会 3	発表会を通じ、課題解決能力及び表現力を養う。 自分史(未来編)の作成や卒業生との対話を通じて、将来の進路選択の一助とする。	卒業生懇談会	
	春 進学補習 休		オープンキャンパス参加	
	4 シラバス説明 総合選択(数学、理科、体育、芸術) 7	上級学校・企業見学を通じて、将来について理解を深める 他地域理解として、沖繩について調査・研究し、発表する。	進路の日 蘇峽祭(文化祭)	個人面談 三者懇談会
2 年	夏 進学補習 各種講習会 休	インターンシップを通じて、働くことの意味を考え、職業に対する理解を深める。 補習及び各種講習会を通じて、進路実現に向けた学力向上を目指す	インターンシップ オープンキャンパス参加 看護師体験	
	9 平和学習	平和の大切さについて意識を高める	進路別ガイダンス 人権講演会 合唱コンクール	生徒意識調査(県教委) 三者懇談会
	12 販売実習(ビジネス)	3年次科目選択		
	1 総合研究テーマ決め 卒業生との対話を通じて、将来の進路選択の一助とする。		卒業生懇談会	
	春 進学補習 休		オープンキャンパス参加 海外語学研修	
4 国語表現「小論文対策」 7	「総合研究」テーマ決め 研究活動		個人面談 三者懇談会	
3 年	夏 進学補習 各種講習会 休	進路実現に向けて、基礎学力の向上を図る。	キャリア・チャレンジ・プログラム オープンキャンパス参加	
	9 美術「ろくろ細工」 家庭科「保育園実習」 「総合研究」中間発表会	伝統工芸に触れることで、地域についての理解を深める 保育園実習を通じて、子どもの発達や子どもの支援について理解を深める	合唱コンクール	生徒意識調査(県教委)
	12 「総合研究」発表会	課題解決能力及び表現力を身につける		
	1 「総合研究」卒業論文制作 3	1年間の研究成果をまとめることで、知識理解を深める		総合学科アンケート 授業評価

